

委22-1

第21回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 要 旨（案）

1. 日 時 昭和55年10月29日（水）
午後2時～2時20分
2. 場 所 宇宙開発委員会会議室
3. 議 題 実験用静止通信衛星（ECS-b）の打上げ結果の評価を踏まえた宇宙開発事業団の対策について
4. 資 料
委21-1 第20回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理	吉 誠 雅 夫
" 委員	斎 藤 成 文
" " "	井 上 啓 次 郎

関係省庁職員等

科学技術庁研究調整局長	勝 谷 保
" 長官官房審議官	神 津 信 男
文部省学術国際局審議官	大 崎 仁 (代理：横山)
通商産業省機械情報産業局次長	小 長 啓 一 (代理：吉田)
運輸省気象庁総務部長	森 雅 史 (代理：山中)

郵政省電波監理局審議官

三 浦 一 郎
(代理：木原)

 " " 宇宙通信開発課

九 里 茂

宇宙開発事業団システム計画部長

山 口 弘 一

 " システム計画部

大 野 信 幸

 " 国際室

塚 一 弘

 " ロケット設計グループ総括開発部長

竹 中 幸 彦

 " ロケット設計グループ

太 田 尾 純 吉

事務局

科学技術庁研究調整局宇宙企画課長

吉 村 晴 光

 " " 宇宙国際課長

佐 藤 允 克

 " " 宇宙開発課長

高 木 宏 明

6. 議 事

(1) 前回議事要旨の確認

第20回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨案が確認された。

(2) 実験用静止通信衛星（ECS-b）の打上げ結果の評価を踏まえた宇宙開発事業団の対策について

吉誠委員長代理による以下の発言ののち、第18回宇宙開発委員会（昭和55年8月27日）における、宇宙開発事業団の報告（資料委18-2）が了承された。

吉誠：本件については、第四部会にも意見を求めるなど、慎重に検討を行った。宇宙開発事業団の報告には必要な対策が継続されており、この対策を如何に実施するかが、今後の問題であり、実施に万全を期すことが望ましい。

このあと、吉識委員長代理から、本件に関する今後の取扱いについて次の発言があつた。

吉識：宇宙開発事業団における本件対策の進捗状況に関しては、静止気象衛星2号（GMS-2）がECS-bの不具合以降アポジモータを用いる最初の衛星であることから、とりあえず、これの開発において講じる対策の結果について、早急に当委員会にて検討を行う必要があると考える。